


施した。本市の給付金は国の給付金の補完と考える。**議員** 新型コロナに係る市税の徴収猶予の効果と相談窓口の整備について伺う。**市民部長** 安心した市民生活の継続、今後の生活の立て直しに非常に効果がある。相談窓口については6月も開設するとともに、7月は納税課と保険課が連携して国民健康保険税の相談体制を整える。**議員** 生活困窮者自立相談支援事業について、生活困窮者の考え方、支援の方法、相談受付状況を伺う。**健康福祉部長** 経済的に困窮し、最低限度の生活の維持が困難である者を対象とし、関係機関と連携しながら、必要に応じて生活保護の相談窓口につないでいる。生活・就労支援窓口の受付件数は増加している。**議員** 都のPCR検査の現状と検査数の推移を伺う。**市長** 直近1週間の検査件数は1日平均約1千300件に増加し、PCRセンター等の体制整備が進んでいる。

議員 本市PCRセンターの整備、必要性、財源確保、設置期間を伺う。**健康福祉部長** 多くの市民から求められており、近隣自治体と連動した取り組みとして早期に実施することが必要であると認識する。財政支援については今後、都の支援策が示される予定で、設置期間は当面約6カ月間を想定しているが、今後の感染状況の推移を見ながら柔軟に対応する。**議員** 当該施設周辺における感染防止対策と風評対策について伺う。


健康福祉部長 ドライブスルー方式、完全予約制により可能な限り短時間で検査を行う。設置場所は非公開とし、一般人と接触が極力生じない動線確保する。**議員** 都による当該施設設置の情勢と本市での唾液によるPCR検査を伺う。**健康福祉部長** 都は市区町村の設置の支援をするため所管の保健所とも連携した体制支援を担う。本市での唾液による検査は医師会とも検討を行っており、本事業の財源の範囲内で対応可能なものと想定する。**議員** 新型コロナ対策に係る国・都からの財源確保について所見を伺う。**市長** 緊急対応方針を取りまとめ、中小企業支援、児童・生徒の学習用端末の整備などの財源として有効に活用することとした。

議員 新型コロナ対策のため事業費用が減額または事業が中止になるものがある。当該事業への今後の取り組みについて伺う。**市長** 緊急事態に対応する財源を確保するため予算の減額や事業の延期を図っているが、実施方法も議論し、提案をしていきたい。**議員** 将来の財源確保に係る基本的な考え方を伺う。**市長** 今後の財政運営を見据え、基金を活用した機動的な対応と新たな財源確保のバランスをとりながら取り組んでいきたい。**議員** 新型コロナ対策に係る家庭学習の状況とオンライン学習の環境整備等について伺う。**教育長** 家庭での学習支援については学校ホームページを通じ、復習を中心とした学習機会を提供してきた。オンライン学習の環境が整っていない家庭には都の補助制度を活用し、タブレット端末等を貸与する。**議員** 児童・生徒一人一台タブレット端末の整備、教職員もタブレット端末の活用状況、学習効果を伺う。**教育長** 国のGIGAスクール構想の補助制度を活用し、一人一台のオンライン学習などにも対応できる回線付きタブレット端末の導入を予定している。端末を使いこなせる教員を中心に取り組み、学習効果については個別に最適化された学習の支援ができるものと期待している。

市民に寄り添った新型コロナウィルスへの対応を



公明党 大倉あき子 幹事



議員 特別定額給付金は独り暮らしの高齢者、視覚障がい者等、社会的に弱い立場の人々にも確実に届くように配慮する必要がある。これまでの取り組みと課題について伺う。**市長** 平時から関わりを持っている関係部署や関係団体にも手続き方法等の周知を図っている。今後もきめ細やかな対応に努める。**議員** 市民協働のまちづくりについて、コロナ禍による影響と、今後の市民活動や市民協働の在り方等について所見を伺う。**市長** 様々な面で大きなダメージを受けている。新しい生活様式での市民参加、市民協働の在り方や活性化について検討したい。**議員** コロナ禍では、家に閉じこもる高齢者の身体機能等の低下が懸念される。独り暮らしの高齢者の安否確認など、高齢者を社会で支える仕組みがより重要になると考える。所見を伺う。**健康福祉部長** 地域包括支

し、一人一台のオンライン学習などにも対応できる回線付きタブレット端末の導入を予定している。端末を使いこなせる教員を中心に取り組み、学習効果については個別に最適化された学習の支援ができるものと期待している。**その他の質問** 新型コロナに係る国、都、市の役割分担についてなど

が心配だ。本市のDV・虐待等の現状と今後の対応について伺う。**子ども政策部長** 虐待リスクの可能性がある家庭に対し、関係部署等と連携して定期的な電話連絡、メール相談の周知等を行っている。今後はオンライン相談の充実等が課題と考える。**議員** 幼児は必要な予防接種の時期を逃すと感染症罹患のリスクが高くなる。コロナ禍でも積極的に予防接種をするよう周知が必要だ。所見を伺う。**健康福祉部長** 必要な時期に予防接種を済ませることが重要であるため、引き続き周知に努めていく。**議員** 保護者が新型コロナウイルス感染症で入院・隔離となった際、子どもの面倒を見る人がいない場合の支援体制を作っておくことが重要だ。特に医療的ケア児の保護者の不安は大きいと考える。所見を伺う。**市長** 保護者が感染者となった場合の子どもの支援体制は保健所が調整しており、医療的ケア児は医療機関での受け入れになると認識している。市としても何らかの形で支援できるように検討していきたい。**議員** 市内の中小企業等はコロナ禍で売り上げが減少し、地域経済への影響も深刻化している。本市の商工業を守るためにも、特に高齢の経営者や商工会未加入者に寄り添った支援が必要だ。所見を伺う。**生活環境部調整担当部長** 商工会未加入でも利用ができる相談窓口を三鷹商工会内に設置し、経営アドバイ

ザー派遣制度を拡充した。情報を幅広く発信し、寄り添った支援をしていく。**議員** 小規模事業者への家賃給付において、3月に創業した事業者は支援から外れている。当該事業者への支援について所見を伺う。**生活環境部調整担当部長** 何らかの手段を行う方向で検討していく。**議員** 音楽などの芸術・文化に対し、寄付金窓口の創設など火を絶やさない支援策が必要だ。所見を伺う。**市長** 寄付金創設は検討していきたい。また、三鷹市スポーツと文化財団等と協力し、何らかの支援策が行えるよう考えていきたい。**議員** 学生アルバイト等を活用した宅配事業は、コロナ収束後も学生と高齢者、地域を結び、買い物不便地域解消に有効な取り組みだと考える。所見を伺う。**副市長** 当面は飲食店の宅配が主だが、市民や事業者がアイデア等を持ち寄り、様々な機能を付加していくことも可能だと考える。**議員** 6月から学校が再開したが、子どもの心への影響が懸念される。アンケートでの対応だけでなく全員面接を実施してはどうか。**教育長** 二気に見えても抱える課題は多くあると考える。個別面接は有効と考え、前向きに検討していく。**議員** 学校再開後、感染防止対策等で教師の負担が増えている。負担軽減のために人材確保に取り組むべきだ。所見を伺う。**教育長** 国の補正予算を受けて出された人的支援は前向きに検討していきたい。

また、サポート人材、学校支援ボランティア等より多くの人材確保に取り組む。**議員** 休校期間中は自律学習支援プログラムすらを提供しているが、インターネットに不慣れな子どももいる。全ての児童・生徒が意欲的に取り組めるよう使い方の指導もすべきだ。**教育部長** 操作が苦手な子どもには、教員が個別に説明を加えながら取り組めるように進めている。**議員** コミュニティ・スクール委員会の会議のオンライン化を望む声がある。学校での対応について伺う。**教育長** 試行的取り組みとして各学校にあるタブレット端末にオンライン会議ができる環境を整えた。当該委員会での活用等については今後検討していきたい。**議員** 適心支援教室A1R oomがコロナ禍で長期休校となった。これまで保健室登校等で通っていた子へのきめ細やかな支援が必要と考える。所見を伺う。**教育部長** 6月の学校再開に伴い、体験入室の受け入れを開始した。児童・生徒の不安等に寄り添い、支援を行っていく。**議員** 避難所における感染拡大を防ぐマニュアルの作成と、段ボール、マスク等の備蓄の拡充は急務だと考える。所見を伺う。**副市長** 避難所の設置・運営についてガイドラインの作成と感染防止用の物資の備蓄を進めている。**その他の質問** 財政運営/テレワーク/仙川公園名称変更/GIGAスクール構想の進捗についてなど

今後の社会状況を見据えた適切な財政運営を



無所属 半田 伸明 幹事長



議員 子ども・子育て基金から2億8千万円を取り崩す一方、財政調整基金に2億2千万円を積み増ししたことは評価する。コロナ危機の長期化が予測される中、来年度予算編成においては基金の取り崩しは慎重にするべきだ。所見を伺う。**市長** 当面は財源不足を基金取り崩しによって補填せざるを得ない。基金残高とのバランスを取りながら活用を図り、来年度以降のことを十分慎重に考える必要があると思っている。**議員** 危機の長期化を想定すると基金を大きく取り崩すわけにもいかず、行財政改革による対応も限界がある。来年度の予算編成の基本的考え方について伺う。**市長** 早急に来年度の市税収入の見直しを立て、行財政改革と基金の取り崩しを両輪とした財源確保に努め、財政を運営していく。**議員** 基本計画の財政フレームにおける税収の見込みは300億だが、大幅な税収減は避けられない。税収減を見越して見直すべきだ。**企画部調整担当部長** 改めて財政フレームを推計することは想定していない。**議員** 児童・生徒一人に1